

## 令和7年度予算

アナ： 「市長が語る 2025 三島」第1回となります本日は、令和7年度予算について、お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 令和7年度の予算のうち、福祉や教育をはじめとする市役所の基本的な業務に関わる一般会計予算は、当初予算ベースで483億5千万円と伺っています。

今回、この予算を編成する上で意識したことはどのようなことでしょうか。

市長： この令和7年度予算を「ひとり一人が輝き活気あふれるウェルビーイング推進型予算」として、市政運営の柱として掲げている「ガーデンシティ」、「スマートウエルネス」、「コミュニティづくり」の3つの柱を軸に、少子化対策の一環として「ハッピーマリッジ事業」などの新たな取組も加えながら、市民の皆様が魅力あるウェルビーイングな三島暮らしにより一層の誇りと愛着をもっていただけるように、今回の予算を編成いたしました。

アナ： 「ハッピーマリッジ事業」とは、具体的にはどのような取組でしょうか。

市長： 喫緊の課題である少子化対策の一環として、結婚に対する多様な価値観を大前提としながら、ライフデザインセミナー事業や婚活プロモーション事業などを実施することで、若い世代の結婚・子育てに関する前向きな希望を応援するものです。

アナ： 三島で結ばれ、子育てをされる若い世代の方々が増えれば、さらに活気のある三島につながっていきますね。

ところで、「ハッピーマリッジ事業」以外にはどのような取組をされるのですか。

市長： その他の取組といたしましては、長伏プール跡地周辺の再整備として、子育てしやすいまちの象徴となる大型複合遊具の設置や芝生広場の整備などを行うほか、老朽化した市営長伏グラウンドAにつきまして、夜間照明設備の更新や、グラウンドへの人工芝の張替えなどを行い、安全で快適な利用環境づくりを進めてまいります。

また、「店舗魅力アップ改修事業費補助金」により、市内中小企業の方々の店舗改修費用の一部を支援することで、店舗の魅力向上を図り、誘客につなげるほか、映画やドラマのロケ誘致の推進やインフルエンサーによるSNSを活用した情報発信、大阪万博へのブース出展など、より多くの方に三島を訪れていただくための取組を進めてまいります。

さらに、国の制度開始に先立って、保育園等に通っていない生後6か月から3歳未満のお子さんを預かる「こども誰でも通園制度」の試行を行うなど、

子育て環境の更なる充実を図るほか、市公式ホームページのリニューアルなどにより、市民の利便性向上にも積極的に取り組んでまいります。

他方、三島駅南口東街区再開発事業におきましては、三島の宝である地下水の保全を図りつつ、再開発事業組合が実施する建築工事等を支援していくほか、大場地区の土地区画整理事業に対する支援や移住定住・企業誘致の取組なども引き続き、推進してまいります。

アナ： なるほど。皆さんの暮らしを大切にしながら、未来に向けた様々な投資も行っていくことで、将来にわたって活気あふれるウェルビーイングなまちをつくっていかうということですね。

市長： その通りです。ご説明した取組は、全て市民の皆様一人一人が幸せを実感し、「三島で生まれてよかった、育ってよかった、暮らしてよかった」と思っただけのまちを実現し、希望あふれる未来につなげていくための予算と考えております。

アナ： 市民の一人お一人がウェルビーイングを実感し、三島で暮らしてよかったと思えるような素敵なまちになっていくことを期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。